



**Data**

監督: イェン・フェイ / ボン・ダー  
モ  
出演: シェン・トン / マー・リー /  
ウェイ・シャン

## 👁️👁️ みどころ

今の北朝鮮にとって中国は力強い味方。それと同じように、建国直後の中国にとって、社会主義の先輩たるソ連は尊敬と憧れの対象だから、ソ連の美大への絵画留学は最高の名誉。

そのはずだが、第5話では何とも奇想天外な展開 (=偽装工作) が続いている。

これは一体なぜ? タイトルの意味を含めて、そんな小噺の面白さをしっかり味わいたい!

— \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

### ■□■ 中国共産党は結党100年! その目玉は? ■□■

5月31日付読売新聞は、「中国共産党100年」の連載の1つとして、「スター起用 100作放送予定」、『愛党ドラマ』若者狙う」と題して、「中国で共産党をたたえるドラマや映画が続々と制作されていること」を報じた。「中国メディアによれば、2021年7月に党が創設100年を迎えることにちなみ、テレビドラマだけで100作品近くが年末までに放送される予定」らしい。

そこでは「若手スターを起用した作品が目立っており、習近平政権は若い世代を対象とした「愛党教育」に利用する狙い」らしい。その「目玉映画」が7月1日に上映が始まる『1921』。これは、主に20歳代だった結党メンバー13人が上海に集まり、第1回党大会を開く過程を描いた、上海市当局肝いりの作品らしい。

### ■□■ かつては、社会主義の先輩たるソ連への尊敬と憧れが! ■□■

他方、今でこそ中国はロシア(ソ連)を追い越し、社会主義国のトップを走っているが、社会主義革命を最初に成功させたのはソ連。それが1917年の「二月革命」と「十月革命」だ。19世紀末から続いた西欧列強による中国の植民地支配と1930年代の日本に

よる中国侵攻に苦しんだ中国は、1945年にやっと日本に勝利したが、その後、共産党と国民党の対立が続いたため、社会主義国家としての中華人民共和国の成立は1949年10月1日になった。そんな中国の、建国当初の社会主義建設の目標・モデルは、「五カ年計画」をはじめ、すべてソ連のものだった。

したがって、建国当時の中国の知識人や芸術家にとって、ソ連に留学するのは最高の憧れ。中国東北部の村に住む画家の馬亮（マーリャン）（沈騰（シェン・トン））も当然そうだと、妻の秋霜（馬麗（マー・リー））は考えていたが・・・。

## ■□■ソ連の美大へ絵画留学！そりゃ最高！ところが・・・■□■

第5話の冒頭、マーリャンの進路を決める某会議（？）の席に、元女子レスリングの選手だったという妻の秋霜が乗り込み、夫マーリャンをソ連の有名美大に留学させるプロジェクトに入れ込むことに成功！マーリャンは抵抗したものの、秋霜の腕力（？）にはかなわず屈服し、渋々、単身で留学することに。しかし、どうしても故郷の村に戻りたいマーリャンは、現実にはソ連の美大に行かず、故郷の村に戻り、秋霜とのスマホでのやり取りでは、あたかも、ソ連で留学生生活を送っているふりを偽装していた。そんなマーリャンの手助けをするのは、村の有力者の魏村長（魏翔）たちだ。

夫の画家としての才能を信じ、ソ連の美大を卒業した後の名声を期待する秋霜は、毎日のようにスマホでマーリャンと連絡を取り、情報交換に励んでいたから、スマホが鳴るたびにマーリャンが受ける緊張感とそこでの偽装工作は大変だ。果たして、秋霜のスマホに写るマーリャンの日常生活のベッドは？壁紙は？調度品は？

## ■□■妻が視察に！偽装工作の維持は？バれてしまうと？■□■

本作前半はそんなコメディータッチの展開が続くが、中国とソ連を股にかけて大規模な偽装工作はいつまで続けることができるの？秋霜は自宅のリビングルームに飾ってある夫の数々の作品にご満悦だが、スマホによる情報交換だけに満足できなくなった彼女は、遂に夫の視察に乗り込む決意を伝えたから、マーリャンは大変だ。

本作後半からは、マーリャンに協力する村長たちを含め、視察にやってきた妻、秋霜を如何にごまかすか、を巡って更に漫画チックな展開が続いていく。それはかなりバカバカしい展開だが、意外に面白い。しかし、秋霜もバカではないから、ある日、ある時、ある局面でマーリャンたちの偽装工作がバれてしまうと？

さあ、秋霜の怒りは如何に？冒頭で見た秋霜の元女子レスリング選手としての力量に照らせば、マーリャンにはとんでもない処罰（制裁）が待っているはずだ。ところが、いやいや・・・。第5話には何とも言えない温かい結末が待っているので、それに注目！

2021（令和3）年6月3日記